
職業リハ学会通信

NO.158 2019年 6月発行

学会大会

大阪色の強い数多くの 大会企画ワークショップが皆様の 参加をお待ちしております！

こんにちは。大阪大会事務局です。梅雨の湿気に鬱々とする時期になっていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。全国的にもうすぐ梅雨も明け、いよいよ本格的な夏の季節がやってきますね。8月23日(金)・24日(土)に開催される、第47回大阪大会もいよいよ日が迫ってきました。事前申し込みが6月から開始され、続々とご参加の希望をいただいております。まだ事前予約をされていない学会員の皆さまにおかれましてもぜひ奮って予約をお願いいたします。

さて、本号では、これから参加を考えられる方々に向けて、本大会の大会企画ワークショップ・シンポジウムの内容をお伝えしていきます。各企画者や大会事務局から企画内容について、簡潔な内容紹介をいただいております。ご参考にしてください。

大会1日目：8月23日(金) 15時10分～17時10分

A 教室「障害者雇用推進による経営効果～人を大切にする中小企業の取り組み～」

企画：日本職業リハビリテーション学会 近畿ブロック

内容：中小企業の障害者雇用に対する取り組みを報告していただき、障害者雇用推進による経営効果についてまとめていきます。熱い思いのこもった実践をお聞きください。

B 教室「障害者の雇用・就労支援の強化」

企画者：大阪府

コーディネーター：金塚たかし（NPO 大阪精神障害者就労支援ネットワーク統括施設長）

内容：商工労働部・福祉部・教育庁の三部局連携の取り組みについて報告いたします。またその取り組みに基づいた支援機関の実践を後半ご紹介します。

C 教室「国際的な視座で、わが国の職リハの潮流を読む」

企画者：日本職業リハビリテーション学会 国際委員

内容：持続可能な社会の構築を目指す国際的な動きの中で、社会問題の解決には、文化多様性に配慮したアプローチが鍵であると言われていています。わが国の障害者雇用や就労支援、職業リハビリテーションの実践においても、諸外国の実践家が障害のある人を取り巻く課題をどのように捉え、どのような取り組みが行っているのかの学びが必要不可欠になっています。この度、国際委員会では、諸外国での実践に明るい3名の方々をお迎えし、わが国での実践との比較や応用についてディスカッションします。

D 教室「企業×福祉×医療～持続可能な職業リハビリテーションにおける精神保健福祉士の可能性～」

企画：一般社団法人 大阪精神保健福祉士協会

内容：本ワークショップでは企業・福祉・医療それぞれの場面で精神障害者の職業リハビリテーションに関わる精神保健福祉士が登壇する。主に精神障害者就労の現状やそれぞれの現場で感じている問題意識について事例をもとに報告する。中でも企業側の現実的な課題も理解したうえで、企業×福祉×医療がそれぞれ連携しあうことで、より現実的で持続可能な障害者雇用の形、職業リハビリテーションの形を模索し、精神保健福祉士がもつ役割や可能性について議論を深める機会としたい。

E 教室「精神障害者の職場定着をテーマとした企業担当者による実践報告」

企画：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部大阪障害者職業センター

内容：精神障害者の職場定着に向けた会社内の風土づくり、コミュニケーションづくりを進めている企業の実践報告を踏まえ、その効果的な取組について考察します。

大会 2 日目：8 月 24 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

C 教室「地域コミュニティー・ベースによる『地域企画』の創出」

企画：大阪府障がい者就業・生活支援センター連絡会

内容：地域における課題解決に向け、単体事業所では対応困難な企画を複数の事業所・者が合同で取り組もうとする様態を指す「地域企画（地域マネジメント、地域支援企画）」に焦点を当て、「地域の集団化と、それに伴う支援情報の提供」による効果についてイメージ共有するとともに、地域にとっての有用な企画を生み出すためには、どのような考えやイメージが必要かを考察する機会としたい。

8 月 24 日（土）13 時 00 分～14 時 30 分

A 教室「職業リハビリテーションを取り巻く認知行動療法の実践～職場への定着のための支援を考える」

企画：池田浩之（兵庫教育大学/NPO 大阪精神障害者就労支援ネットワーク）

内容：本企画は、職業リハビリテーションにおける認知行動療法の実践を紹介し、職リハ領域における活用を検討するものです。復職支援、医療領域での職リハ実践、就労移行支援における実践を通じて、職場への定着にどのように認知行動療法が貢献するのか、フロアの方々と理解を深めていけたらと考えています。

B 教室「企業現場の定着支援～SPIS 活用法～」

企画：NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク

内容：職場定着のための支援ツールとして普及している SPIS について実践報告を行います。深みのある定着支援の実践をぜひお聞きください。

C 教室「離島における就労支援～つながることで感じた可能性～」

企画：NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク

内容：人口減少（労働人口の流出）・高齢化という離島地域が抱える課題に対し、障害のある方の就労支援を通して解決を目指す取り組みについて紹介します。

以上、大阪色の強い実践報告が皆さまのご参加をお待ちしております。

当日はさらに 36 題の口頭発表と 14 題のポスター発表、6 題の自主ワークショップが大会を盛り上げます。立命館大学いばらきキャンパスへたくさんの方のご来阪を大会関係者ともども楽しみにしております。

第 47 回学会大会のご案内	1P
2019 年度第 1 回運営理事会報告	3P
委員会報告	5P
ブロック活動報告	6P
国際委員・海外学会参加報告	8P
学会員投稿	9P
新入会員のお知らせ	10P
事務局からのお知らせ	11P